

<p>【イベント名】 第4回 日本・メキシコ内視鏡カンファレンス</p>	<p>【概要】 Dr. 八尾より、検査と特性評価の2ステップに分かれた診断過程についての講演が行われた。胃全体を把握するために狭帯域光観察が可能な拡大内視鏡を使って、1) 境界線のある不整な微小血管の形態、または2) 境界線のある不整な粘膜縁の形態を見つけることによる表面の分類方法を提案した。</p>
<p>【期日】 2016.08.25</p>	
<p>【会場】 メキシコ国立自治大学 (メキシコ), シャープマサトラン病院 (メキシコ), 九州大学病院 (日本)</p>	



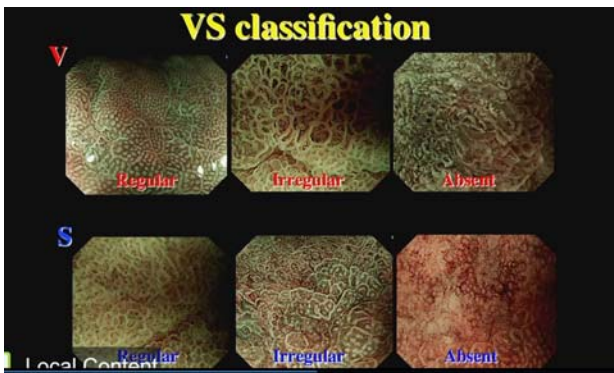
メキシコ国立自治大学での会場の様子。

撮影場所：九州大学病院



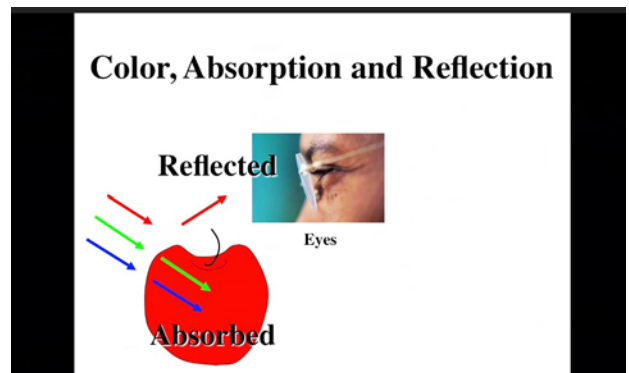
シャープマサトラン病院から参加するDr. Enrique。

撮影場所：九州大学病院



提示された内視鏡画像。

撮影場所：九州大学病院



提示されたスライド。

撮影場所：九州大学病院



九州大学から講演するDr. 八尾 (中央)。

撮影場所：九州大学病院



モニターに映し出される3施設。

撮影場所：九州大学病院